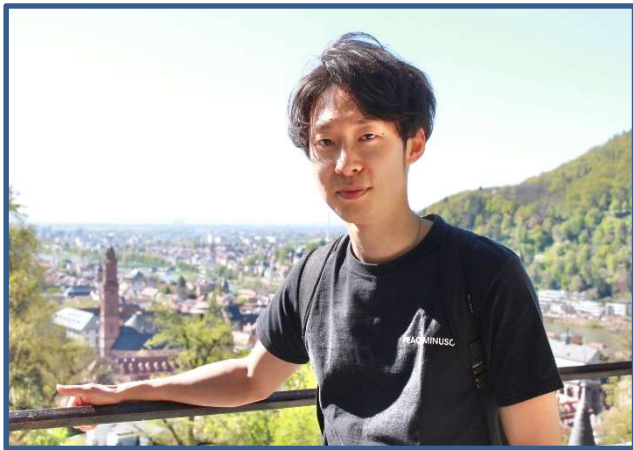


OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 洲澤 春樹
所属 (School) 工学域 情報工学課程
学年 (Grade) 4年
留学先 (Name of overseas institution)
ドイツ人工知能研究センター (DFKI)
留学期間 (study abroad period)
2022/3/23~2023/3/22
記入日 (Date) 2023/3/23

留学レポート Study Abroad Report

・留学のきっかけ

幼い頃から洋画や海外ドラマが好きで、漠然と海外に強く憧れていたため、いつか長期の留学をしてみたいという思いはずっとありました。今回の留学は、ドイツに留学できる研究室があると大学の授業で聞いたのがきっかけです。教授に熱意をアピールするために大学の授業や英語学習に励み、幸い3回生までに単位を取り切っていたので、1年間の留学の機会を得ました。

・ヨーロッパ留学のメリット

留学する前は、英語圏がいいと思っていましたが、ヨーロッパ旅行ができるメリットは大きいです。僕もイタリアと、スペイン、フランス、オランダ、イギリスに行きました（写真：ベネチア・マヨルカ島・アムステルダム）。英語で何とかできるし、第二言語として英語を習得している人の英語はシンプルで分かりやすいです。色んなバックグラウンドの人が混ざっているため、言語が拙いことにも寛容で、のびのび頑張れる環境だと感じました。ヨーロッパは学費がほぼ無料の国が多いので、それも大きなメリットです。留学はお金がかかるというイメージがあると思いますが、国を選べば別に日本に住んでいるのと変わらないこともあります。



・研究留学について

今回の留学は、厳密にはドイツ人工知能研究センター (DFKI) でのインターンでした。DFKI は、僕が所属していた、知能メディア処理研究室と提携している研究機関です。僕は、日本で卒業論文を書く代わりに、DFKI のプロジェクトとして、卒業研究に取り組んでいました。JASSO の海外留学支援制度の支援を受けて、卒業が遅れることなく、理想的な形で留学することができました。もちろん一般的な交換留学で学ぶことも多いですが、語学力と掛け合わせる専門性の高さが重要だと強く感じています。英語はあくまで手段として、自分の専門分野を深めることに意識を向けられる研究留学は価値が大きいです。

・留学で学んだこと

留学の直前は、英語で研究ができるのか、優秀なドイツ人にイジメられるのではないかと不安が大きかったです。本当に優秀な人は優しいということを知ったのが、衝撃的でした。英語で話していると、日本語の敬語とタメ口ほどの差はないので、年齢を意識せずに人と仲良くなれる気がします。日本や韓国などの上下関係を強く意識する国では、初対面で年齢を尋ねますが、英語圏の人には違和感があるようです。ドイツでは、ひと回りくらい離れている人とでも友達として仲良くなって飲みに行ったり、上司との関係も役割が違っただけで対等で、日本よりも信頼関係を築きやすいのかなと思います。年齢や人目を気にせず、大学を出てから別の学部に入りなおしたり、就職してから修士や博士に戻ったり、自由な選択を取る人も日本より多いと感じました。PhD（博士課程）に関しては、日本ではあまり一般的な進路ではないですが、ドイツでは1つの職業として認められており、しっかり給料を貰って研究をしているということを知りました。



・日本と海外の違い

1年の留学を通して、「外人マインド」を手に入れたので、外国人と日本人との違いについて考えてみました。まず、外国人はアピール精神がすごいです。自己肯定感が高いし、周りの目を気にせず自分の意見をはっきり主張します。僕は教授に対して、少しお時間いただけませんか…というスタンスでしたが、外国人のインターン生は、俺は教えてもらえば何だってできるぜ、君は俺に何を教えてくれるんだって感じでした。特にインド人なんかは、家族、仲間意識が強くて、相手に迷惑をかけるのを全然躊躇せず、助け合い精神がすごかったです。恥ずかしがらずに感情を出すので、日本人としては新鮮で、コミュニケーションの勉強になりました。仲間に対する愛情や気遣いもすごくて、日本のおもてなし精神の方がどこか表面的に思いました。

・日本の良さ

ここまで海外の良い所ばかり書きましたが、留学を通じて日本愛も高まりました。こんな安く美味しくて健康的な食事が手に入る国はないし、病院へのアクセスの良さ、教育の機会の平等さ、働くのが比較的しんどい分、消費者としては良いサービスを受けられる、などです。また、留学で外国人の友達ができるのも楽しかったですが、何より海外で熱意を持って挑戦している日本人と知り合うのが最高に刺激的でした。留学中は英語しか話したくないから、日本人とは関わらないとか言う人もいますが、それは勿体ないと思います。日本にいたら出会えなかったらと思うような面白い日本人が厳選されていて、楽しかったです。同じ志を持った仲間や、導いて応援してくれる人との出会いに恵まれ、慣れないものに飛び込む勇気の大切さを学びました。

・留学中つらかったこと

基本的にありません。家族や友達に会えないのは寂しかったですが、メンタルも筋肉と同じで負荷をかけると大きくなるので、孤独にも強くなりました。友達が風邪を引いて、アムステルダムに1人で行ったことがきっかけで、一人旅にも目覚めました。1人だと知らない人に結構話しかけられるので面白いです。1人でどこでも行けるやん、となってから、日本以外でも生きていけるかもと思うようになりました。日本でしか生きられないのと、日本で生きるという選択をしている状況は結構違うと思います。例えば、これから就活や社会人生活が上手く行かなかったとしても、海外に逃げれば良いやんと思えるようになったのは、大きいです。

・最後に

まだ英語が話せないから、まだ海外に通用する専門知識なんてないから、という考えは勿体ないです。留学に限らず、興味があるなら、とにかく面白そうなところに軽い気持ちで飛び込むことが大切だと思います。目指すべきところが見えてくるし、優秀な人に囲まれると、焦って頑張るしかなくなります。意外と行ってみたら大したことないと思います。英語などについては、ブログ¹にまとめているので、のぞいてみてください！

¹ <https://harukisuzawa.pythonanywhere.com/>